

## 平成 25 年度事業報告

1) 登録者:平成 25 年度は 459 名の純増があったので、合計は 16,570 名である。

### 《純増の内訳》

一般	39 名	長崎東 LC	1 名	長崎ベニシク LC	3 名
長崎北 LC	2 名	長崎南 LC	5 名	長崎西 LC	11 名
長崎中央	5 名	長崎出島	29 名	長崎あじさい	30 名
長崎ヤング	9 名	諫早 LC	38 名	諫早センチュアソン LC	17 名
諫早東 LC	23 名	諫早中央 LC	11 名	多良見 LC	1 名
高来小長井 LC	22 名	大村 LC	1 名	大村中央 LC	1 名
おおむら桜 LC	2 名	島原 LC	191 名	日野江城 LC	1 名
有家西有家 LC	4 名	佐世保中央 LC	1 名	させぼ花みずき LC	3 名
波佐見 LC	8 名	川棚 LC	1 名		

合計 459 名

## 2) 摘出角膜・眼球について

(1) 摘出角膜利用状況は以下のとおりである。(平成 26 年 3 月 31 日現在)

献眼者数	48 名
摘出角膜数	96 眼
移植利用角膜数	61 眼 (うち 6 眼は昨年度の保存角膜を利用)
保存眼数 (表層移植用)	26 眼

※ 15 眼は感染症検査陽性等で利用不可のため廃棄処分にした。

(2) 長崎県の角膜移植待機患者数 (平成 26 年 3 月 31 日現在)

長崎大学病院	51 名	長崎医療センター	0 名
佐世保市立総合病院	0 名		

計 51 名

### 【参考】角膜移植待機患者人数 (過去 15 年分)

平成 11 年度末: 110 人	平成 12 年度末: 114 人	平成 13 年度末: 136 人
平成 14 年度末: 79 人	平成 15 年度末: 80 人	平成 16 年度末: 62 人
平成 17 年度末: 24 人	平成 18 年度末: 25 人	平成 19 年度末: 24 人
平成 20 年度末: 21 人	平成 21 年度末: 17 人	平成 22 年度末: 17 人
平成 23 年度末: 19 人	平成 24 年度末: 33 人	平成 25 年度末: 51 人

3) 角膜の広域あっせんについて

他アイバンクへ5眼の角膜をあっせんした。

久留米大学アイバンク 5眼

4) 会議

(1) 長崎アイバンク理事会・評議員会

平成25年5月19日 ホテルニュー長崎

(2) 第35回九州各県アイバンク連絡協議会

平成25年7月26日 東京(鬼塚・浜崎)

(3) 第36回全国アイバンク連絡協議会

平成25年7月26日 東京(鬼塚・浜崎)

(4) 第24回アイバンクワークショップセミナー

平成25年7月27日 東京(浜崎)

5) 厚生労働大臣の献眼者に対する表彰について

厚生労働大臣の献眼者に対する表彰者は48名である。

6) 普及啓発活動

(1) 平成25年5月15日

ホテルニュー長崎にて開催された長崎みなとライオンズクラブ例会において、理事長 北岡隆が「角膜移植とアイバンク」について講演した。

(2) 平成25年10月6日

長崎市および西彼杵郡在住のアイバンク登録者を対象に目の愛護デー無料検診が行われ、18名が受診した。

於：NTT西日本長崎病院眼科外来 主催：長崎県眼科医会、長崎アイバンク

(3) 平成25年10月12日

諫早観光ホテル道具屋にて日本アイバンク運動推進協議会全国研修会が開催され、理事長 北岡隆が「最新の角膜移植情報」について講演した。

(4) 平成25年10月20日

長崎市三和公民館にて長崎南部歌謡祭が開催され、評議員 上松聖典が角膜移植とアイバンクについて講演した。

〔報告事項〕

《公益財団法人への移行完了について》

平成 26 年 4 月 1 日をもって公益財団法人に移行した。

《その他報告》

①平成 25 年 12 月 17 日

会楽園にて長崎北ライオンズクラブ忘年例会が開催され、評議員 上松聖典が出席し、長崎アイバンクへの寄附目録が贈呈された。

②平成 26 年 1 月 8 日

知事の所管に属する公益法人の検査が長崎県福祉保健部 国保・健康増進課によって行われ、指摘事項は特にないとの報告があった。